

# 法学研究科修士課程 カリキュラム（先端法務コース）

- 1、企業法務を中心とした高度に専門的な職業を担う能力を得る。
- 2、企業活動をとりまく先端的な法的問題に対応しうる高度な調査能力と分析・判断能力を身につける。



## 修士論文

当該専門分野における学術的意義、新規性、創造性及び論理的整合性等を備えた論文の作成

+

以下の授業科目からの22単位以上及び論文指導  
8単位の修得

### 展開科目

#### 基礎法学

日本法史 法思想史  
西洋法史 法社会学  
ローマ法 英米法  
東洋法史 ドイツ法  
法哲学 フランス法

#### 公法

憲法1～3  
行政法1～3  
租税法  
国際法1・2  
国際機構法

#### 民刑事法

民法1～5 民事手続法1～3  
商法1～3 国際私法  
企業法 国際取引法  
経済法 刑法1・2  
知的財産法 刑事手続法  
労働法 刑事学  
社会保障法 刑事法政策

#### 政治学

政治学 比較政治学  
政治思想史 アメリカ政治  
政治史 政治過程論  
日本政治外交史 行政学  
国際政治学 公共政策  
国際政治経済分析

### 基本科目

先端租税法 先端民法 先端商法 先端経済法 先端知的財産法  
先端労働法 先端民事手続法 先端国際私法等

指導教授による研究指導

2  
年  
次

1  
年  
次

入学者には、企業法務に関心をもち学部レベルにおいて基礎的な法的知識を身につけていること又は企業等の法務に従事する職業人としての経験から法的学識を備えていることが求められる。